

卒業は、次のステップへの第一歩! 手をつなぐ育成会「卒業を祝う会」

中央公民館で3月16日、障害を持つ子どもの保護者でつくる「白石市手をつなぐ育成会」が、この春に小中学校や高等学校を卒業した子どもたちの、新たな門出を祝う「卒業を祝う会」を開催しました。

今回めでたく卒業を迎えたのは、小学生3人、中学生4人、高校生4人の11名。保護者や教育・福祉関係者など40人が見守る中、卒業生は「仕事を頑張りたいです」、「勉強をたくさん頑張りたいです」などの抱負を述べました。会では卒業生に記念品を贈り、参加者全員で次のステップへと進む子どもたちを祝福しました。



▲皆さん、ご卒業おめでとうございます!

子どもたちを優しく包み込む、母の愛の調べ 壽丸屋敷で「白石城下わらべまつり」を開催



▲参加者も一緒に歌う場面もありました。

3月16日、壽丸屋敷で「白石城下わらべまつり」が開催され、県内外から参加した60人が、絵本の読み聞かせやミニコンサートなどをゆったりと満喫しました。

この催しは、白石まちづくり株式会社の主催で昨年からは行われています。今回も図書館ボランティアの皆さんが、ひな祭りにちなんだ絵本を読み聞かせたほか、仙南地域を中心に音楽活動を行っている「ままのいや」の皆さんが、優しく、透み感のある歌声を披露。司会を務めた地元の作曲家、菊池嘉雄さんの曲や、「荒城の月」などに、子どもたちがうっとりとして耳を傾けていました。

温暖化を防ぐため、私たちにできることは? (社)白石青年会議所3月公開例会



▲班ごとに分かれ、活発な意見交換を行う参加者の皆さん

地球温暖化の原因は何か。温暖化を防ぐには今、何をしたら良いのだろうか。県の「スマイルリバー・プログラム」や、市の「しろいしサンキューロード・プログラム」の認定を受け、清掃活動などの環境事業に取り組んでいる(社)白石青年会議所では、3月18日に公開例会として、環境問題を考えるグループワークを開催しました。

商工会議所で行われた例会には、青年会議所のメンバーや、一般の方を含め30名ほどが参加。参加者からは「人口の増加や森林伐採が温暖化の原因」、「温暖化を防ぐには、電気や資源の節約が大切」などの意見が次々と発表され、全員で地球温暖化への理解を深めていました。

地元産のソバを使った手打ちそばは最高! 白川公民館で「そば打ち体験教室」を開催

白川公民館を運営する「白川振興会議」は3月23日、外部から講師を招き、そば打ち体験教室を開催しました。同公民館では、転作作物として白川内親地区で生産したソバ粉を使い、地産地消に生かそうと、4年ほど前から体験教室を開催しています。この取り組みは昨年度、本市の「きらめき推進事業」に採択され、内親青年部の支援の下、公民館では市の補助を得てそば打ち道具8セットを購入しました。この日行われた教室には、地元の皆さん17名が参加。講師の話に熱心に耳を傾けながら、2名1組になって一生懸命そば作りに取り組んでいました。



▲そばを薄く伸ばす作業を行う参加者の皆さん

不要入れ歯が世界の恵まれない子どもたちを救います 市庁舎1階に「不要入れ歯回収ボックス」を設置

不要になった入れ歯を回収し、入れ歯に使われている金や銀などの金属をリサイクルして得た収益金で、世界中の恵まれない子どもたちを支援しようと、市社会福祉協議会とNPO法人「日本入れ歯リサイクル協会」が、市庁舎1階のロビーに不要入れ歯回収ボックスを設置し、3月28日に設置式が行われました。

回収の対象となるのは、金属付きの、歯にかけるバネがある入れ歯です。リサイクルで得られた収益金は日本ユニセフ協会に贈られ、世界中で役立てられることになっています。市民の皆さまのご協力をお願いします。



▲序幕を行う風間市長と、設置した2団体の代表者

女性力で白石に元気を吹き込もう!! すまいるうーめんまつり



▲フリーマーケットやストリートライブも行われました。

3月30日、すまいるひろばにおいて、「すまいるうーめんまつり」が開催され、多くの市民が訪れました。

主催したのは、今年の1月に市内の飲食店や商店の女性経営者など20名で結成した「白石若女将の会SYMA」(小笠原礼子会長)の皆さん。中心市街地に賑わいを取り戻すとともに、地場産品のうーめんを地元の皆さんにもっと知ってもらいたいと開催したものです。この日は、新しいうーめんの食べ方も紹介され、トマト味やカレー味、らーめん風が用意され、訪れた人たちは食べ比べをするなど、新しいうーめんの味を楽しんでいました。

施設全体でご長寿を祝福しました 高橋かすみさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲ご家族や施設関係者など、全員で100歳を祝福しました。

4月3日に満100歳の誕生日を迎えた高橋かすみさんのことを風間市長が尋ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。

かすみさんは大平森合のご出身で、同じ地区で農業を営む高橋家に嫁がれ、家業と8人の子育てに奮闘の日々を送られました。現在は福岡の八宮荘に入所されており、部屋で童謡を歌うなど、穏やかな日々をお過ごしです。

八宮荘入所中に100歳を迎えるのはかすみさんが初めてのこととあって、施設入所者や職員など、全員でかすみさんのご長寿をお祝いしました。

ずっと!きれいな公園に! 第9回つくし公園まつり

4月6日、つくし公園まつりが開催され、日ごろから公園を利用している子どもたちなど、多くの皆さんが参加しました。今年で9回目を迎えるこのお祭りは、開園の翌年から毎年4月の第1日曜日に開催。田町自治会や老人クラブ田町相生会、あしたば白石、碧水園の利用者などで構成する「つくし公園運営委員会」が、開催しています。この日集まった子どもたちは、委員会の皆さんたちと一緒に花の苗100株を植えた後、紙芝居やゲートボール、特設の駄菓子屋での買い物など、親子で手作りのお祭りを楽しんでいました。



▲風間市長も参加し、親子と一緒に花の苗を植えました。